

2018年12月5日

関係各位

## 盛和塾の解散と活動の終了について

京セラの創業者である稲盛和夫の経営哲学を学ぶ経営塾「盛和塾」につきまして、2019年末をもって、本部ならびに各地の盛和塾を解散し、その活動を終了することが決まりましたので、お知らせいたします。

### 1. 盛和塾について

盛和塾は、もともと京都の若手経営者から、京セラ株式会社の社長（当時）であった稲盛和夫に、人としての生き方「人生哲学」、経営者としての心の持ち方「経営哲学」を話して欲しいと要望があり、1983年に誕生した自主勉強会に端を発しています。

真剣に学ぼうとする塾生と、それに応えようとする塾長の稲盛との人生道場として、また塾生同士の切磋琢磨の場として、全国各地の盛和塾に多くの熱心な経営者が集まっております。稲盛は、心ある企業経営者こそが明日の日本を支えるとの信念に基づき、これまで盛和塾の活動に取り組んでまいりました。

現在では、その活動は海外まで広がり、日本 56 塾、海外 44 塾となり、塾生数は計 13,832 名となっています（2018年10月末現在）。

### 2. 活動終了の経緯

以前より稲盛は、盛和塾の活動は 80 歳を目途に終える意向を示していました。しかしながら、78 歳の時に日本航空の再建を担当したことがきっかけともなり、日本のみならず海外にて、特に中国を中心に稲盛の著書を通じて、稲盛の経営哲学に触れる方が増加し、それに伴い入塾者数も増加の一途をたどり、今日まで活動を続けてまいりました。このたび、稲盛は、現在の年齢では、体力の面から、これまでのように精力的に活動に参加できないことや、過去より「盛和塾は一代限り」と表明していたことに鑑み、2019 年末で盛和塾本部ならびに各地盛和塾の活動を終了することを決めました。

盛和塾の終了にあたり、稲盛からは全塾生にメッセージを発信しておりますので、要約を添付いたします。

### 3. 今後の活動について

①2019年の盛和塾の活動、すなわち各地塾の自主例会、本部主催の合同勉強会、世界大会などは、通常通り行われる予定です。なお、稲盛は、2019年夏の世界大会のみ出席する予定です。

②機関誌 [盛和塾] も年 4 回の発刊を予定しております。

#### 4. その他

盛和塾本部は、塾生の会費収入により活動してまいりました。

2019 年末の活動剰余金は、全て中央共同募金会 <https://www.akaihane.or.jp/>に寄付し、「赤い羽根福祉基金盛和塾社会人定着応援プログラム」の実施に充ててまいります。

#### 稲盛塾長から塾生へのメッセージ

私は来年（2019 年）1 月で 87 歳になります。今まで皆さんにお伝えしたい事はすべてお話してきたつもりです。私は力の限り盛和塾に心血を注いでまいりました。しかし、最近は身体がいうことをきかない事もございますため、誠に残念ながら、私自身が盛和塾の勉強会に参加する事は、来年の世界大会で終了したいと考えております。また、この盛和塾本部と各地の盛和塾の活動も来年で終わりにしていただきたいと思っております。

当初から、盛和塾は私一代限りにしようと言っておりましたが、何度も何度も考えた結果、この盛和塾は一代限りで終わらせるのが一番良いと判断いたしました。

その理由としては、組織を残すことになれば、いつかはこの組織を悪用したり、またこの組織の名前を汚したりする人間が出てくる可能性が考えられるということです。私の代わりに、誰かが「フィロソフィ」を解説しても、もうそれは稲盛哲学ではありません。語る人の考えが投影されてしまうからです。

盛和塾が発足してから、私自身も研鑽を積み、京セラや KDDI を大きく発展させていくことができました。また、盛和塾の多くの方に助けられ、JAL の再生を成し遂げることができました。

盛和塾で私も多くの学びと勇気をいただいた事に、深く、深く感謝を申し上げます。

是非、今まで学ばれた事を実践し、社員の方々を幸せにし、社会のために尽くされます事を切に望みます。皆さんが利他の心をもって、世のため人のために貢献されますことを祈っております。

#### 【お問合せ先】

盛和塾本部事務局

〒612-8450 京都市伏見区竹田鳥羽殿町 9 稲盛ライブラリー 7 F

電話：075-604-6050

担当：池田 成男

e-mail：naruo-ikeda@seiwajyuku.gr.jp